

平成 24 年 3 月 13 日

会員各位

平成 24 年 1 月 14 日の開催の理事会で、次年度以降の T E C A 活動の方向について議論を行いました。その結果、“認定 N P O 法人化”は活動結果として成すものとの昨冬の役員懇談会時の整理を踏まえ、更には「財務体質強化」は営業活動と業取組みコア体制を事前に行うことが不可欠なので、その方向での組織づくりをするべきとのこととなり、

- ・組織を改定し、大きな 4 つの部門に編成替えを行う。
- ・新組織の部門の仮名称は

技術・M G 部門、 自然保全活動部門、 交流推進部門、 事務管理部門

とし、各々の部門においては企画と営業を含めた部門内での一線完結型で事業取組みを進めるとのことで方針確認を行い、ここに皆様のアンケート結果を取り込み、更に具体的に検討を進めてきましたが、3 月 10 日の理事会で以下のような体制で行うことの正式決定をいたしました。

この新体制へ向けた役員配置については、5 月 12 日に開催予定の“T E C A 定期総会”での議決事項となりますので、予めお知らせを致します。

【T E C A の 24 年度以降の活動態勢について】

	事務管理部門	交流推進部門
所管の主な業務	外部組織からの依頼等の受付窓口機能 定例会、及び、総会の準備作業と調整 T E C A 学習会の企画・準備作業 組織強化、会員増強に関する取組み 機関紙発行、パンフレット作成等の広報作業 M L 管理、H P 運営（県庁 H P 登録を含む） その他、活動全般に関する全体的な調整と事務 N P O 法人事務局と右記の各部門の事業推進 にかかる支援と T E C A の会計処理	環境関係の他団体との交流推進活動 エコツーリズムへ向けた取組み推進 環境政策の検討・提言作業 行政等を含む他団体主催の各種イベントへの 出展対応 E C U 主管事業との協同事業対応 事業内の収支管理

【T E C A の事業展開組織】

活動の弾力性と柔軟性を発揮のため部門制を導入
部門内で事業を一線完結的に実施
執行役制度は継続実施

	自然保全活動部門	技術・M G 部門
所管の主な業務	探勝会等、自然環境学習の支援に関する企画、 指導活動 自然環境保全活動への参加 自然環境保全活動の企画、指導 指導者のスキルアップ研修の実施 事業内の収支管理	とちぎ環境産業振興会活動対応 省エネ活動の支援対応 各種の環境保全技術支援対応と企画・情報 発信 C P D 研修の企画・運営 環境マネジメントの普及啓発活動 エコアクション 21 取組み指導・助言・制度 の推進と支援活動 ISO14001 推進指導・助言 事業内の収支管理

【部門制度での活動の進め方】

事務局

